

共同募金への寄付には税制上の優遇措置があります

個人の寄付の場合

寄付金が2千円を超える場合、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除の対象となります。所得税における控除では、所得控除か税額控除のどちらかを選択することができます。

法人の寄付の場合

株式会社などの法人の場合は、寄付される金額について「全額損金」扱いとなります。※税の控除を受けるには領収書が必要です。控除に必要な領収書の発行を希望する場合は、払込取扱票通信欄の該当する部分を○で囲んでください。

■各エントリー団体、福島県共同募金会事務局でも寄付をお預かりいたします。銀行口座（東邦銀行）へのお振込みも可能です。詳しくは福島県共同募金会へお問合せください。



エントリー団体一覧

- 1** 特定非営利活動法人 **ビーンズふくしま**
〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5
TEL・FAX 024-563-6255
<http://www.beans-fukushima.or.jp/>
- 2** 特定非営利活動法人 **子育て支援コミュニティプチマン**
〒963-8041 福島県郡山市富田町字大徳南2-23
TEL・FAX 024-983-1925
<http://blog.goo.ne.jp/petitmaman-info>
- 3** 特定非営利活動法人 **あだたら青い空**
〒964-0074 福島県二本松市岳温泉二丁目20-11
TEL・FAX 0243-24-1518
<http://www.adataara-aoisora.com/>

お問い合わせ先 社会福祉法人 福島県共同募金会

〒960-8141
福島市渡利字七社宮111(福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-522-0822 / FAX 024-528-1234
<http://akaihane-fukushima.or.jp/>

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ATMでは使用できません。
・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

平成29年度

使いみちを選んで寄付する!
団体ががんばる!地域が良くなる!

地域課題解決型募金



寄付受付期間：平成30年1月1日から3月31日まで

「地域課題解決型募金」とは

地域には、子どもの貧困や障がい者の生活支援など、様々な課題があふれています。市民レベルでこのような課題の解決に取り組む活動は、県内でも多数展開されていますが、多くの場合、ボランティア団体やNPOは、活動資金の調達に課題を抱えています。

そこで、福島県共同募金会では、地域課題を解決するために立ち上がった人々を直接応援するしくみとしてこのプログラムをご用意いたしました。地域課題の解決に取り組むボランティア団体やNPOの皆様は、自らその必要性を訴えて資金を調達することができ、寄付者の皆様は、共感する団体を選んで寄付を行い、直接応援することができます。ご寄付により、NPO団体の活動が活発となり、地域がよくなることを目指しています。

皆様の暖かい気持ちを、赤い羽根共同募金にお寄せください。

社会福祉法人 福島県共同募金会

この3つの事業の中から選んで活動を応援してください!!

プロジェクト 1 子どもの居場所づくり

特定非営利活動法人
ビーンズふくしま



安心できる居場所を、不登校・貧困を背景に孤立する子どもたちへ
子どもの居場所を創出し、地域と関わりながら子どもたちの生きる力を育む

【現状】
私たちは、不登校、貧困等の理由で、社会から孤立しがちな子ども・若者の支援をしています。「自分が大切な存在だ」という自己肯定感をもてる、安心できる居場所を、多様な学びや人とのつながりを通して子どもたちに「生きる力」を育んでほしいと願っています。「学びたい」「人とつながりたい」という思いは子どもが本来持っています。人間関係で傷ついたり、孤立している子どもが、その思いを叶えられる居場所が必要です。

【取組内容】
● 仲間とつながり、ほっとできる居場所づくり
● 子どもの自信を育む社会貢献活動・体験活動
● 困窮家庭の子どもへの学習支援と食事会
【目指す成果】
安心できる居場所での体験や経験を通して、不登校や貧困で孤立していた子どもたちの自己肯定感の向上を図る。そして、子どもたちが自ら意思をもって、進路や生き方を決め、社会とつながっていくようになる。

プロジェクト 2 「個・孤」子育ての解消

特定非営利活動法人
子育て支援コミュニティブチママン



各地域でお母さん参加型の子育て支援を共に企画立案・実施していく
個別・孤立した子育てから、仲間と地域で子育てできる環境づくりを目指す

【現状】
子育て支援を豊かなものにするには、情報交換できるつながりづくりや豊富な支援メニュー等ソフト面の充実が重要です。そのためにはお母さん方が主体となって活動の企画・立案を行っていく必要があると強く感じています。「ブチママン」は郡山市を中心に活動を行っていますが、サークル間でのノウハウ共有や活動の企画立案の補助を行いながら、郡山市の周辺地域においても子育て活動を活性化させていきたいと考えています。

【取組内容】
● 子育てサークルの交流会及び講習会の実施
● 関係機関と連携した親子活動啓発行事や講習
● お母さん主体の親子活動企画立案補助
【目指す成果】
各地域で地域資源を活用しながらお母さん方主体の子育て支援活動が確立していくことで、「個別・孤立」した子育てから「仲間と」子育て、ひいては「地域で」子育てへと広がっていくことを目指す。

プロジェクト 3 地域の居場所づくり

特定非営利活動法人
あだたら青い空



こども食堂を通して、地域のコミュニティづくりをすすめる
子どもと大人が交流できる地域の居場所をつくり、社会的孤立の解消を

【現状】
2017年4月から二本松市において、子どもの貧困対策や子育て支援、地域の居場所づくりを目的として、こども食堂「ふれあいキッチン・ハラクッチー」を開設しました。ハラクッチーは地域の子どもと大人と一緒に調理や食事、交流をすることで新たな地域の居場所を創設する取り組みです。現在は地域の農産物や子育て支援団体から食材などの支援をいただきながら実施していますが、継続的に運営するための資金が不足しています。

【取組内容】
● 食育と交流重視のこども食堂の運営
● 地域の子どもと大人の居場所づくり
● 地域住民の新たなコミュニティづくり
【目指す成果】
こども食堂に参加する子どもや大人の交流の機会となるだけでなく、地域住民同士のコミュニティづくりを促進し、地域ぐるみの子育てができる環境を醸成する。こども食堂を通して、社会的な孤立の解消を目指す。

寄付の方法・手順



郵便払込票の書き方

通信欄の「寄付したい団体の番号」を1つ選んで○で囲み、郵便局窓口でも手続きできます。